



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2026年7月1日

7月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。



6月はプールのスポットサポートや土曜開放デーなど、多くの保護者の皆様が学校にお越しいただく機会を設けることができました。

土曜開放デーでは、子どもたちの授業を見るだけではない「学習参加」が多く教室で行われました。「学習参加」は、授業の活動に保護者が「一緒に」参加しながら、我が子だけでなくその周りにいる子たちも支援をしていただくことで、子どもたちの心の安定を図り、「学ぶって楽しいな」と感じてほしいという願いのもとに行っているものです。自分の親だけでなく、「〇〇ちゃんのおうちの方」と一緒に学んでいる姿はとても微笑ましく子どもたちにも笑顔があふれていました。

プール掃除のスポットサポートでは、10名弱の保護者の方々が手に手にたわしを持ちながら集まってくださいました。「来年は高圧洗浄機持ってきてみましょうか？」と言ってくださる保護者の方もおり、心強いばかりでした。本当にありがとうございました。

地域に目を移せば、多くの方が子どもたちの登下校を見守ってくださいています。一人一人のお名前を呼びながら「いってらっしゃい。気を付けてね」と声をかけてくださったり、旗振りのかたわら、身に危険がおよびかねない中、通学路に落ちていた鳥の死骸を片付けてくださったり（諦めがつかない親鳥がずっと見張っていたのです）したこともありました。



さらに、「おはなしのまど」のみなさんは、月に1回20分休みに子どもたちに向けて、手遊び、本や紙芝居の読み聞かせをしてくださっています。また、市内にはプラザが無い学校や開催しても週2回など小規模なプラザがある中、本校のプラザの皆さんは、ほぼ毎日体育館で待っ

ていてくださって、子どもたちの居場所を確保してくださっています。

なお、令和8年度の本校の学校運営協議会の委員（本校職員2名を除く）は以下の通りです。



ご存じでしたか？ 本校のつくりは複雑です。その上、モール下（職員玄関と児童昇降口の間のレンガ敷きの広場）は上履までは通行できないので、教室からランチルームや体育館への移動はどうしても2階の渡りを通って移動することになります。保護者のみなさんも、このことをご理解いただき、教室からランチルームや体育館への移動は2階を通過いただけますようお願いいたします。また、保護者の皆様の外靴を収容するスペースが用意できません。多くの保護者をご来校いただく場面では、子どもたちの靴箱の上に置かず、それぞれお持ちになって移動していただきたいと思います。

推進協	阿部 章	学識経験者	谷井 茂久
公民館	荒 名穂子	地域	浪越 哲也
警察	井上 賢巳	地域	南部 さつき
病院	岩崎 克己	支援学校	林 麻佐美
企業	真丸 博光	保・幼	原田 由美
地域	鈴木 國臣	保護者	宮田 志穂

（敬称略・太字は新任）

多くの方々に支えられての浜之郷小学校です。保護者の皆様もできるときにできる人がという精神で子どもたちを支えていただければと思います。